



2026 SUPER GT RACE REPORT

SUZUKA CIRCUIT

Rd.5

8.22[sat] - 23[sun]

[place] 鈴鹿サーキット (三重県鈴鹿市)

[weather] sat 曇り sun 晴れ

[spectators] 52,500人 (sat 20,500人 sun 32,000人)

Rd.1	OKAYAMA International Circuit	APR 11 - 12
Rd.2	FUJI SPEEDWAY	MAY 3 - 4
Rd.3	Sepang International Circuit	JUN 20 - 21 *開催延期
Rd.4	FUJI SPEEDWAY	AUG 1 - 2
Rd.5	SUZUKA CIRCUIT	AUG 22 - 23
Rd.6	Sportsland SUGO	SEP 19 - 20
Rd.7	AUTOPOLIS	OCT 17 - 18
Rd.8	MOBILITY RESORT MOTEGI	NOV 7 - 8

TOM'S

予選終了後にトラブルが発覚しエンジン交換。
ペナルティストップを受ける展開となったが、
諦めずに追いつけて10位入賞を果たす。



2026 AUTOBACS SUPER GT Round5「SUZUKA GT 300km RACE」が、8月22日・23日に鈴鹿サーキットで行われた。気温 30℃、路面温度 45℃、さらには湿度も65%を超える灼熱の1戦となったなか、今季初優勝を狙う #37 Deloitte TOM'S GR Supra (笹原右京/ジュリアーノ・アレジ) は、予選9番手につけるも、トラブルに伴うエンジン交換を実施。ペナルティストップ5秒を受け遅れをとったが、粘り強く走り続け、10位入賞。貴重な1ポイントを獲得した。



 37 TGR TEAM Deloitte TOM'S Deloitte 笹原 右京 UKYO SASAHARA ジュリアーノ・アレジ GIULIANO ALESI		RESULTS Round 5 QUALIFYING 1 SASAHARA P9/1'46.390 QUALIFYING 2 ALESI P9/1'46.661 RACE / Fastest Lap SASAHARA 1'49.205 ALESI 1'49.234	予選 9 位 決勝 10 位 Driver Standings 11 位 Team Standings 12 位
---	--	--	--

QUALIFYING

天候:晴れ | 気温:34℃ | 路面温度:46℃

前戦の Round4 富士で3位表彰台を獲得した37号車。サクセスウェイトはGT500クラスのなかでも比較的軽く、今回の鈴鹿でも引き続きトップを狙って、22日(土)の公式練習に臨んだ。アレジが走行中、トラブル車両を回避してコースオフ。その際に、リヤウイングなどマシンの後部を損傷。しかし、チームの素早い作業によりすぐに修復し、セッション中にコース復帰を果たした。公式練習は12番手で終えた。

午後の公式予選では、笹原がQ1を担当。僅差の戦いのなか、1分46秒390をマークし、9番手でQ2進出を果たした。笹原からバトンを受け取ったアレジは、少しでも上のポジションを目指してタイムアタックに臨んだが、ライバルも手強くトップ集団に入ることはできず、9番グリッドから決勝での追い上げを目指す。



RACE

天候:晴れ | 気温:34℃ | 路面温度:49℃

9番グリッドから上位進出を狙う予定だった37号車だが、予選終了後にエンジンにトラブルが発生していることが判明し、決勝レースに向けて急ぎょエンジン交換を実施することとなった。今シーズンは年間を通じて使用できるエンジン数が1基と決められているなか、開幕戦でもトラブルに見舞われていた37号車は、今季2度目のエンジン交換を強いられることに。エンジン交換に伴うペナルティとして、ペナルティストップ5秒が科せられた。前半スティントは笹原が担当し、5周目にペナルティストップを消化。これにより、前方を走るライバルとの差は大きなものとなったが、諦めずに周回を重ねていった。

33周目にピットインし、アレジに交代。上位のライバルと同じような好ペースで周回を重ねた。ライバルを追い抜くまでには至らなかったが、粘り強い走りが功を奏し、10位入賞を果たし、貴重な1ポイントを獲得した。



TOM'S

Driver
笹原 右京

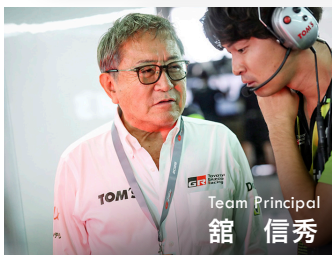
トラブルに関しては、正直、仕方がないと思っています。決勝はペナルティストップがあった関係で、前方のライバルとは離れて、終始1人で走っている状況でした。そういう意味では寂しかったですけど、クルマはすごく調子が良かったと思いますし、タイヤも良かったです。今回はこういう結果でしたが、次に向けては自信を持てる内容が作れました。起きてしまったことは仕方がないですし、残る SUGO、オートポリス、もてぎのレースで勝つだけだと思っています。

Driver
ジュリアーン・アレジ

トラブルでエンジン交換をすることになって、序盤にペナルティストップを受ける展開となりました。残念ではありますが、仕方ありません。ただ、レースペースはすごく良いところにいると思うので、それは次につながると思います。次からはこういうトラブルは起こらないと思いますし、僕たち37号車のポテンシャルは高いです。何よりチームのみんなが一生懸命に頑張っているのので、僕は心配していません。SUGOは僕たちの大好きなコースなので、良い結果を出せるように頑張ります。

Team Director
ミハエル・クルム

エンジントラブルは本当に不運というか、残念でした。それがなければ、もっと前でゴールできていたかもしれません。レースではペナルティストップを受けて後方から追い上げる形になりましたが、とにかくやれることはやりました。できれば、セーフティカーが絡む展開になって、それをきっかけにチャンスを作れたらと思いましたが、そこまですまじくありませんでした。チームは本当に素晴らしい仕事をしてくれて、ピットストップも早かったです。ドライバーも頑張ってくれて、クルマも良い方向にいらっているので、次戦では良い結果を狙います。

Team Principal
館 信秀

結果は決して良いとは言えませんが、TOM'Sとしては簡単ではない状況下でダブルポイントを獲得したのは良かったと思います。ただ、今回の37号車は予選が終わった後にトラブルが発覚し、エンジン交換を余儀なくされるという不運がありました。そこで受けたペナルティが結果に響いたと思います。37号車にとっては運がない週末でしたが、次のSUGOでは優勝できるチャンスがあるので、今回の雪辱を果たすべく、次戦に臨みたいと思います。また次戦も、たくさんの応援をよろしくお願いいたします。

Deloitte.

ZENT

WET-FOR-3

TOYOTA
GAZOO
Racing

TGR-D

BRIDGESTONE

AUTHOR

OKANO
Express

BINGO

はうらいせん
www.houraisen.co.jp

POLAIRE

BRIDE

PORTS.CO.JP

S&D
TAMA GROUP

ENKEI

HRX

Mizuno

ThreeBond

MECHANIX WEAR

KRS